

長野便教会 会報

ひとつ拾えば ひとつだけきれいになる

平成27年3月28日（土）第81号



1 犀川の流れるように、脈々と…

気がつけば79号も80号も、そして今回お届けする81号もなんと3回続けて犀陵中の号になっています。今年度2回目、通算4回目となる犀陵中のお掃除ですが、毎回思うのは皆さんのお掃除に対する向き合い方が、半端ないと思います。「無言でやりましょう」なんて言わなくても、すでにのめり込んでしまって無言になっています。「道具を持つ手と反対の手は便器をつかんで体を固定します」などと言う前に、すでに便器やパイプをつかんでいます。すごいです。そうしたお掃除への向かいが、代々先輩から後輩へと脈々と受け継がれていることにも感動をいただきます。ありがたいことに、毎回先生方の参加が多いのも、犀陵中の特徴です。今回は、2学年で引き継いだばかりの生徒会担当の岩村先生に、お忙しい中ご寄稿いただきました。

なぜあえてトイレ掃除なのか

長野市立犀陵中学校教諭・岩村 忠幸

今回初めて「掃除に学ぶ会」に参加させていただきました。以前から思っていたことの一つに「なぜあえてトイレ掃除なのか」ということでした。掃除について学ぶのであれば、例えば学校であれば教室や廊下でもできるのではないだろうか、とっていました。

そんなことを思いながら学ぶ会当日を迎えました。男性用トイレの水こし、それも相当スペシャルな汚れの物をやらせていただきました。便教会の方々と同じように素手で行ってみました。正直、抵抗がないわけではありませんでした。ただ、素手でやってみることで「トイレ掃除」の本質を何かつかめるのではないかと思います、思い切ってやってみました。当然水こしの掃除をするのは初めてでしたので、どこからどのように磨けばいいのかわかりませんでした。しかし、その戸惑いがこの「トイレ掃除」の魅力であるのではないかと思います。

わからないけれど、まず実行してみる。実行しながら、効率よくやるにはどうすればいいかを考えてみる。すると、おもしろいように汚れが取れていく。これはおもしろい！ところがスポンジではとれない汚れもある。諦める？いやここまでやって諦めたら納得がいかない！そこで登場のサンドメッシュ。道具を変えてみれば、さらにきれいになっていく。よし、この調子だ、いいぞ！掃除する前の状態と比べたら、全くの別物に。同じトイレで掃除をしていた人たちについて自慢したくなる。「ちょっと見て！」「おおっ、すごい！さっきと全然違う！」「でしょ!？」よし、もっと細かい部分もやってやる！

結局時間がなくなってしまい、完璧というところまで掃除することはできませんでした。それが心残りなのです。「次回の掃除に学ぶ会で続きをやりたい」「今度は使用前の状態にしてやる！」そんな決心をしました。

トイレ掃除の魅力、それは「やる前とやった後の状態が明確であること」だと思います。「あんなに汚いものを手に取って掃除するの!？」その気持ちが数分後に「すごい、ピカピカだ!」自分がやったことが目に見えてはっきりする、この充実感はトイレ掃除が一番いい、そう思いました。臭いもキツかったはずなのに、数分後には臭いもなくなっている。何てわかりやすいんだろうかと思いました。

生徒たちと同じ感想ですが、達成感や充実感を持つ事ができました。「まだまだやってみたい」「自分の手でこのトイレをきれいにしてやる！きれいになったトイレを自分自身が見てみたい」そう思えたのはトイレ掃除だからなのだろうな、と思います。次はどここのトイレを掃除しようかな…。掃除に対してこれだけ気持ちを持たせてくれた「掃除に学ぶ会」に感謝です。

なぜトイレ掃除?の答え、掴んでいただけたようですね。続いて生徒さんの感想。スゴイです!

無言清掃は意識してやるものだと思っていた 犀陵中2年生男子・TKくん

この会をやるまでは、掃除に対する僕の考えは「面倒くさいなあ」「いやだなあ」と思っていたけど、今回参加したことで掃除をすることが楽しくなりました。

最初はためらいながら水こしを掃除していたけど、「触った以上はしょうがない」という気持ちになりました。そして、無言清掃は意識してやるものだと思っていたけど、「この汚れを落としたい」と思って一生懸命取り組むうちに無言清掃になっていました。このことから、無言清掃とは、何か目的をもって掃除をすることで、自然とその状態になるということだとわかりました。

この会には軽い気持ちで参加しましたが、トイレに行った瞬間にそんな気持ちが変わりました。自分がこのトイレをきれいにするんだという気持ちでやりました。この会に参加して、いろんなことが学べてよかったです。次にこのような機会があったら、またやってみたいです。

トイレ掃除の奥深さ

犀陵中2年生女子・TAさん

最初は素手でやることや男子トイレということに抵抗がありました。けど、やっていくうちに楽しさを覚え、どんどんきれいになることが嬉しく思えて、進んでやっている自分にびっくりしました。ひとつひとつの作業に意味があり、次の作業にまたつながっていたりと、とても奥深いことがわかりました。そして、一番印象に残っていることは、「後片付け」ではなく「前準備」ということです。トイレ掃除を次に使う人のことを思ってやるということが、心に残りました。「誰かのために」というのは、素敵なことだと思います。今回のこの会は「掃除を学ぶ」のではなく「掃除に学ぶ会」。この掃除から何を学ぶか、ということが改めて奥深いと思います。貴重な経験を通して、今までの掃除や自分自身と向き合うことができてよかったです。

僕はいつか心のきれいな人になりたい

犀陵中2年生男子・TMくん

僕が掃除に学ぶ会を通して学んだことは、勇気と心の強さです。

少し大げさかもしれませんが、汚いところを手で触ることの勇気。それをあたりまえにやっている便教会の先生方の心の強さから、便教会の先生方のトイレ掃除への強い信念が感じられました。

僕が一番驚いたのは、僕の班の担当の*中村先生が排水口に詰まっている大きなゴミを素手で拾い集めたということです。普段の僕ならまず手で触ることさえできないと思います。もうひとつ驚いたことがあります。それは、汚れがついた便器を何のためらいもなく、手で触り、落としていたことです。このことは、排水口の何倍も驚きました。「えー、汚い」と言葉にも出そうでした。でも、中村先生はこれが普通であるかのように、どんどん汚れを落としていきました。これらの事から、中村先生の心は、本当にきれいなんだろうなと思いました>(*中村先生=中村文成先生・高山中学校)

最後に、僕はいつか中村先生のような心のきれいな人になりたいなと思いました。この小さくてある意味大きな夢は、少し大げさではありますが、人生の中で必ず手に入れる意味があり、そして手に入れなければならないものだと、僕は思います。掃除に学ぶ会に参加できて、本当によかったです。

この日もご参加いただいた畷田均校長先生から先日お電話がありまして、この夏の第8回長野県中学校清掃サミットを、この犀陵中学校で開催させていただけることになりました！ありがとうございます。長野県内の中学校はもちろん、全国の皆さま、この夏は清掃サミットにぜひおいでください。この素晴らしい生徒さんたちと一緒に掃除をしませんか？

2 お知らせ

○小布施掃除に学ぶ会・月例会→毎月第2日曜朝6時～8時30分(奇数月の第4日曜は街頭清掃)

4月は12日、5月は10日。場所は小布施町立栗ガ丘小学校の予定。

○第1回伊那東部中学校掃除に学ぶ会→平成27年4月11日(土)伊那市立東部中学校

こんなに年度の初めに行かせていただくのは、初めてですね。しかも第1回。楽しみです！

○第8回長野県中学校清掃サミット→平成27年7月25日(土)26日(日)長野市立犀陵中学校

詳細は追ってご案内します。まずはスケジュールの確保をお願いします。

今年度もあっという間に1年が過ぎていきました。来年度は長野便教会もいよいよ10年目を迎えます。「10年偉大なり」の言葉をかみしめ、さらに精進します。よろしくをお願いします。

〒383-0021 中野市西2-9-2 長野便教会事務局・太田 智明(木島平中学校教諭)

携帯電話・090-2238-2934 Eメール・otato2005@yahoo.co.jp

小布施掃除に学ぶ会HP・<http://obuse-souji.com/>